

地方のポテンシャルを引き出すテレワークやW i - F i 等の活用に関する研究会

W i - F i 整備推進ワーキンググループ（第2回）

議事概要

1. 日時

平成26年11月20日（木）10時00分～12時00分

2. 場所

総務省10階 第1会議室

3. 出席者

（1）構成員

三友主査、石井構成員、玉置代理（岩崎構成員の代理）、大内構成員、加藤構成員、倉谷構成員、越塚構成員、澤村構成員、白木構成員、谷口構成員、松村代理（千葉構成員の代理）、三次構成員、南川構成員、和食構成員

（2）オブザーバー

観光庁（外客受入参事官室付 後藤課長補佐）、内閣官房情報通信技術（I T）総合戦略室（濱谷参事官補佐）、無線LANビジネス推進連絡会（小林会長）、一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（立石副会長）、一般財団法人全国地域情報化推進協会（企画部 伴野担当部長）、一般財団法人マルチメディア振興センター（情報通信研究部 三澤主席研究員）

（3）ゲストスピーカー

株式会社NTTドコモ（無線アクセスネットワーク部 山崎部長、安藤担当部長）

（4）総務省

南政策統括官、池永大臣官房審議官、岡崎情報流通振興課長、今川地域通信振興課長、河内データ通信課長、磯地方情報化推進室長、片桐地域情報通信振興支援官、荒川地域通信振興課長補佐

4. 議題

- (1) 構成員等からのプレゼンテーション
- (2) 意見交換
- (3) 第1回WGでの議論を踏まえた論点整理について
- (4) 意見交換

5. 議事概要

冒頭、三友主査より挨拶があった。

(1) 構成員等からのプレゼンテーション

(株)NTTドコモ安藤様、加藤構成員、(財)マルチメディア振興センター三澤オブザーバー、石井構成員より資料2-1、2-2、2-3、2-4に基づき説明が行われた。

(2) 意見交換

構成員等からのプレゼンテーションに対して、構成員等から質問や意見があった。主な意見は以下のとおり。

【立石オブザーバー】

- 1点目として、地方自治体や商店街が運用するWi-Fiに関して、維持費を誰がどう負担するかが課題。バルセロナでは、市がサービス提供するとコスト削減になるから市が維持費を負担するという話だが、日本ではまだそこまでいかない。2点目としては、認証の部分にコストがかかるが、これを簡素化するといっても悪用対策をどこまでやるかが課題。海外では認証が簡単だということだが、どの程度コストをかけて、悪用対策をどうしているかが知りたい。3点目は、石井構成員の話で「ICTの地産地消」という話があったが、地域IXや地方のデータセンターの有効活用などが必要になると思うが、海外ではどんな事例があるかが知りたい。

【石井構成員】

- 「ICTの地産地消」については、データ管理の分散化というよりも、雇用の創出に

よる地域の活性化の視点が中心。

- セキュリティ確保と利便性のバランスは喫緊の課題。特に有料と無料のサービスが混在する場合は、無料サービスのセキュリティレベルの担保をどうするかが難しい。

【小林オブザーバー】

- F u k u o k a C i t y W i - F i は、ビッグデータのへの活用や民間も巻き込んだ W i - F i スポットの整備等、上手く機能しているモデルである。また、大手コンビニエンスストア等、日本国内にも現実的なマネタイズモデルがあるので、そのような事例に目を向けて普及展開の参考とすべきである。
- 先日もなりすまし S S I D とと思われる犯罪のニュースがあったが、セキュリティの対応は重要。ハードルを高くすれば使いにくくなり、低くすれば大変なことになる諸刃の剣。

【三次構成員】

- インターネット接続のトラフィックの量からみて、W i - F i 経由のトラフィックは携帯回線のトラフィックに比べてどの程度なのか。無料にすると、どの程度増えるのか。

【山崎様】

- 正確な数字は持ち合わせていないが、3 G や L T E の携帯回線のトラフィック量の方が断然多い。この数年で W i - F i 経由のトラフィックは増大しているが、それでも 10% もないのではないか。

【玉置代理】

- W i - F i で保障される通信の質をどう考えるかもポイントとなる。数年前に整備されたアクセスポイントは速度が遅いとか、使える W i - F i がどの程度あるのかが知りたい。

【石井構成員】

- 7～8年前の旧世代のものはノイズ対策等も含めて品質に問題のあるものもあったが、ここ5年程でノイズ対策も進み、かなり精度が高くなっている。

【安藤様】

- W i - F i 環境の質に関しては、アクセスポイント自体の機器性能だけでなく、バックホールの問題もある。今後の公衆無線 LAN の増大を見据えて、トラフィックが増大してくればバックホールの整備にも対応をしていく必要がある。

【小林オブザーバー】

- W i - F i ネットワークの質については、アクセスポイントと基地局の距離や接続人数によって大きく影響を受ける面がある。場所や状況に応じて最適なネットワークを選択する方法等が重要である。

【事務局】

- 石井構成員のプレゼンテーション内、バルセロナ市におけるインターネットアクセスについて「キャリアのサービスとの棲分け」とはどういうことか。

【石井構成員】

- 民業圧迫しないために、市の行う W i - F i サービスについてはスピードが遅くなっている。キャリアのサービスは速度は速いが有料、市は速度は遅いが無料ということ。

【三友主査】

- 三澤オブザーバーのプレゼンテーション内、韓国での W i - F i 整備に関して、自治体の投資が難しい地域について、キャリアが W i - F i 構築を行い、開放しているという話があったが、その際の費用負担はどうなるのか。何かインセンティブはあるか。

【三澤オブザーバー】

- 韓国内でも、2012年までは携帯キャリアとの調整には時間を要していたが、2013年になってからは大統領の政権公約に全国的な無料 W i - F i 整備が盛り込まれており、政府の定めた計画に従って進めているというのが実情ではないか。キャリア構築分の開放については、政府と話し合っただけで決める形であり、インセンティブが付与されている形跡は特になく思われる。

(3) 第1回WGでの議論を踏まえた論点整理

事務局から、第1回WGでの議論を踏まえた論点整理資料について説明を行った。

(4) 意見交換

事務局からの説明に対して、構成員等から質問や意見があった。主な意見は以下のとおり。

【越塚構成員】

- 様々なWi-Fi向けアプリが出てきているが、外国人にとっては、「ジャパンビジットサイト」のようなワンストップで認証でき、すべてのWi-Fi整備関連の情報にアクセスできるサイトやアプリがあることが望ましい。

【倉谷構成員】

- ビックデータ活用の観点からも、ワンストップで情報が集約できれば、外国人がどう動くか等、いい活用方法が生まれてくる。

【大内構成員】

- 整備計画の各項目については、早急に整備方針を決める必要があるものと、急いで方針を決めなくてもよいものがあり、時間軸を意識して作成してほしい。例えば、オリンピック開催に向けた競技場の工事については、Wi-Fiだけ後付けすることができないため、早急に検討が必要である。

【和食構成員】

- 整備計画の各項目については、時間軸に加え、セキュリティ、提供場所紹介、利便性等、サービスレベルの設定も一緒に検討が必要である。

【玉置構成員】

- ワンストップのサイトができれば、そこに様々なサービスをのせていく際に、質や安心の担保を行うことも可能。

【南川構成員】

- 都市部と地方によってエコシステムが異なるため、最初の前提として民のインセンティブがあるエリアとそうでないエリアに分けて、補助金や既存設備の開放のような議論を進めるべき。日本では、民間のエリアオーナーがコスト負担して自らのビジネスにも地元にも生かしていくというモデルが育ってきていることを考慮すべき。
- 単に無料W i - F iを整備するだけでなく、それをどう活用して地方の発展に役立てていくのかという視点が重要。

【白木構成員】

- 整備すべき主体に関しては、公共施設については自治体が、民間施設については民間事業者が整備するのが基本と考えている。まずは自治体が先導的に整備をすることで民間の整備を誘導していくことが必要。
- 今後は、整備したW i - F iをどのように活用していくかも重要。
- 現在本市で取り組んでいる観光アプリや、スタンプラリー・情報バナーといった広告などW i - F iを活用した新たなビジネスモデルを示して、民間施設の整備促進につなげていきたい。

【澤村構成員】

- 道の駅は地方の玄関口として利用され、特産品や商品開発の場でもあることから、地方へのW i - F i整備の波及という意味で効果があるのではないかと。

以上